

普及活動情勢報告（令和7年4月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

もっと楽しく！もっと楽に！～省力機器実演会を開催～



メーカー担当者の説明を聞く参加者

3月19日に、JA高知県安芸地区柚子部とあき農機センターは省力機器実演会を開催し、部員26人が参加しました。

当日はリモコン式草刈機やウッドチップパー、ドローンなどユズでの活用が期待できる7機種の省力機器を揃え、メーカー担当者が機器の説明及び実演を行いました。

農業改良普及課はスマート農業推進事業について周知しました。

参加者からは、「県東部でこれほどの数の機器が集まることはないので来て良かった」、「今後導入するなら安全装置の付いた機器にしたい」といった声が聴かれました。

農業改良普及課は、今後もユズ産地の維持拡大に向けて、省力機器の導入を推進するとともに生産者のニーズに応じた講習会を実施していきます。

母樹の生育は順調？～ユズ母樹園現地確認～



母樹を確認する様子

4月8日、北川村ゆず振興法人の母樹園の現地確認が行われ、ユズ生産者5人が参加しました。

母樹園では、母樹の発芽状況の確認と適期防除や幼木の枝管理について検討しました。農業改良普及課は、発芽期のそうか病の防除を徹底するよう指導しました。

参加者からは、枝を切り返す位置や誘引の必要性などについて多くの質問や意見が出ました。

農業改良普及課は、優良苗木の安定供給体制の確立に向けて、今後も巡回や定例会を通して、母樹園の適正管理や苗木生産に関する技術指導を実施していきます。

目指せ！アボカド安定生産～大原・西ノ平集落営農組織総会及び定例会開催～



当年度活動を協議する組合員と関係機関の職員

4月15日、奈半利町の大原・西ノ平集落営農組織が大原・西ノ平生活改善センターで第1期通常総会及び定例会を開催し、組合員6人が参加しました。

農業改良普及課は、遊休農地で協業栽培に取り組んでいるアボカドの苗移植に係る土づくりや灌水施肥管理、防風対策等について情報提供しました。組合員からは「今年度は移植時期の前進化や灌水管理に気をつけて活着を促進させたい」等、昨年度の反省を踏まえた意欲的な声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も実証ほを活用したアボカド栽培技術の向上や集落営農活動の定着・活性化を支援していきます。

県内最多のみどり認定取得者です ～みどり認定の認定証交付～



認定証を持つ部会長

令和6年度にJAや生産者、農業改良普及課が一丸となって取り組んだみどり認定取得支援により、安芸市ナス生産者の7割超にあたる274人が認定され、4月17日に生産部会において認定証の交付式が行われました。

この取組は安芸市だけではなく、近隣市町村の生産部会にも拡がりつつあり、生産者からは、引き続き認定者の増加に向けて産地一丸となって取り組んでいく等の意見が出されました。

農業改良普及課は、令和7年度も認定取得に向けた支援を行い、管内の環境負荷低減の取組を推進していきます。